

中古艇ディーラー訪問

浜寺ボート(大阪府堺市)

時代に適応し、次代に必要とされる ビジネスモデルを築き上げたい

「船をより身近に
感じてもらいたい」と
田中龍助氏



「僕の仕事を『御用聞き』です。レストアについては兄に聞いてください(笑)」と話するのは、浜寺ボート(浜寺産業株式会社)のマーケティング統括責任者の田中龍助氏。昨年本誌に登場した技術担当の兄・龍海氏とともに三代目として事業を行っている。浜寺ボートは中古ヨット、中古ボート、中古エンジンの販売を中心に、レストアや修理、陸送、マリナー保管など、実に多角的に事業を展開。同氏いわく、浜寺ボートは中古ヨット、中古ボートのワンストップショップ。何でもお任せいただけますし、さらにメニューも拡げていきますとのこと。昨年も取り上げたが、同社の特徴として挙げられるのが、商品のほとんどを『自社所有艇』が占めていること。つまり、自社で仕入れた中古ヨットや中古ボートを自社でレストアし、販売している。当然、同社マリナーでは全ての中古ヨットや中古ボートが展示されている。

「いろんな情報サイトや他社さんのホームページでは同じ船が相乗りして掲載されたりしていますが、船を探している方の側に立っていないように思います。僕たちが責任を持って管理、掲載しているのは自社サイトとboat naviだけ。また、他社さんの多くが委託販売をされている中で、当社の場合は『売れないリスク』を常に背負ってきた。だからこそ船を選ぶ目も厳しくなりますし、仕入れたヨットやボートはきれいにレストアをする。販売価格は少し高くなりますが、その部分をお

客様は評価してくれています」と同氏。昨年、同社でレストア済み中古ヨットを購入した顧客は、見知らぬオーナーから新艇のヨットと間違われたそうだ。

また、個人売買が盛んになっている状況についても同社では悲観的にとらえていない。「インターネットのインフラが高度に整備され、写真や動画など、これまで『大容量』と言われていた情報が個人間で頻繁に、そしてスピーディーに行き来している時代。売買形態がこれまでの業販から個人売買にある程度シフトするのは当たり前ですし、もっと盛んになると思います。ただ、それは同時に僕たちのような仕入れも販売もする業者が抱えていた『売れないリスク』がお客様の『買うリスク』に転嫁されている時代である、とも言えます。来店されるお客様からも失敗談を聞きますし、特にビギナーの方々がヨットやボートにエントリーされている中で『買うリスク』は増えてきています。浜寺ボートの存在意義は、売買全体の中では小さくなるかも知れませんが、なくなることはありません」

同社の商品は基本的には購入後すぐに乗れる状態。表示価格も同氏いわく『乗り出し価格』であるため、ビギナーからの問い合わせや来店が増えている。

また、同社では昨年に自社サイトを開設。時代に適応しながらも次代を見据えた新しいサービスも立ち上げた。「僕たちも良質なインターネットインフラを利用しない手はない。ホームページやブログ

を開設したことで、個人売買などの船との違いを明確に出せるようになりました」

昨年は一度も来店せずに船を買う、海外からの客が来店する、といったケースが多くあったそうだ。ホームページの開設によって、同社が培ってきたモノが強みとして活かされている好例だが、それだけではない。「もちろん、自社商品だけでなく個人売買が盛んな時代に適応し、相乗効果を図ることも重要です。昨年、『バイバイ(売買)バース』というサービスを立ち上げました。簡単に言うと『少しでも高く売りたい方は、当社マリナーで船をお預かりします』というサービスです。一般の係留費より低い設定金額で船をお預かりし、保証金や年会費も不要。売りたい方にとって、船を当社までお持ちいただく手間が発生しますが、買いたい方が当社の商品を含め、一度に多くの船をご覧いただくことが可能になります。もちろん雑誌や自社サイトにも無料で情報を掲載。ネット情報とリアル情報の同化を実現し、買いたい方の至便さを高めます」

同社では長期的には新艇の販売なども視野に入れている。「去年も兄が言っていました、新艇にもチャレンジしたい。現実的に縮んでいる国内マーケットを、食い止めるというよりもむしろ拡大したいと思っています。そのためにも次代に必要なとされるような会社になり、浜寺ボートの強みを生かした形でマーケットに訴求していきたいですね」



見やすいと評判のHP



中古艇再生工場



バイバイ(売買)バース



中古艇展示場

浜寺ボート
浜寺産業株式会社

〒592-8333 大阪府堺市西区浜寺石津町西5-10-7
TEL: 072-262-3222 FAX: 072-262-6527
http://www.hamaderaboat.co.jp/